

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
5年

食生活をふりかえり、実践力を高める！

食べる？

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

近年、「食」に関する問題が様々取り出されています。食育健康法によって、それが更に加速化しました。そこで、今回の学習では、自分の食生活を振り返り、「食」に関する問題意識が高まることを目指しました。

そのために、身近なスーパーに出向いて調査し、安全・安心に日夜努力が続けられている人々とかかわりから、実際にカレーライスを作ることで、自分の考えを実感できるようにしました。

学習活動の流れ（25時間）

自分の食にかかわる身近な人から情報を集め、食に対する関心を高めました。

校区のスーパーや食材にこだわった宅配業者などを調査し、「安全・安心」「安さ・便利」双方から食を捉えられました。

保護者に伝えることで、自分の学びを振り返ることができるようにしました。

給食にはどんな基準があるのかな(3)

- ・栄養士の先生に聞いてみよう
- ・産地や栄養、アレルギーなどにこだわっているよ

食の安全にかかわることをもっと調べよう(5)

- ・農薬や添加物など体に悪いものがある
- ・商品にも絶対安全とはいえないものがありそうだ

店は食の安全をどのように考えているのかな(4)

- ・できるだけ使わないようにしている
- ・法律で決められた基準もあるんだね

添加物や農薬をほとんど使わない食品を売っている人たちにも聞いてみよう(3)

- ・妥協せずいいものを探したり、作ったりしている
- ・みんなに安心して食べてほしいんだ

安全・安心なカレーを作り家の人に伝えよう(10)

- ・どんな食材を選ぼうかな
- ・値段も高いし、数も少ないね
- ・常に「安全・安心」を心がけていくことが大切なんだね

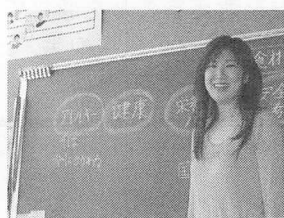
毎日欠かせない食事。安全・安心にこだわる身近な商店と連携して、自分の食生活を見直していきます。

食への興味・関心を高め、家庭への発信もねらっています。



スーパーで

教材・活動の Point!

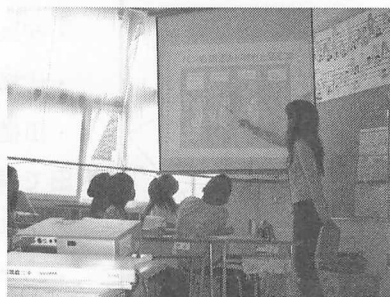


1. 毎日体に取り入れる食べ物。しかし…

毎日摂っている食事。その食材について子供は多くを知りません。しかし、そこには、添加物や農薬の有無、産地、生産者・販売者の願いなど様々な情報が存在します。これらを追究することは、社会科で食糧生産や流通、販売者の工夫などを学んだ5年生に適しているといえます。

2. 様々な角度から食を見つめる

「農薬や添加物はよくない!」という、一面的なとらえでなく、様々な立場から調査します。「法律の範囲内だから安全といていた」「体によくないことは分かっているけれども、便利で喜ぶ人もいるから売っている」という事実から、食の安全に対する見方や考え方を深めていきます。



3. 実際に作ってみることで学びをふりかえる

実際に食材を選び調理することで、「香辛料から作ったほうがいいけど調理が大変」「無農薬の野菜はなかなかないし、あっても高い」と理想と現実を考えていきます。その過程で、学びを振り返り、実践可能な方法を探ることができます。

